

気候情報

2020年1月の日本の天候

- 東・西日本では記録的な高温となった
- 日本海側を中心に降雪量は記録的に少なかった
- 沖縄・奄美では、降水量がかなり少なく、日照時間がかなり多かった

1月の天気概況

冬型の気圧配置が続かず、全国的に天気は数日の周期で変わった。全国的に寒気の南下が弱かったため、北日本日本海側の降雪量平年比は31%、東・西日本日本海側では0%となり、1月としては1961年の統計開始以降で少ない記録を更新した。寒気の南下が弱く、上旬後半と下旬には低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだことから、東・西日本の月平均気温は1月としては1946年以降で1位の高温となった。

上旬：期間の前半は北日本では冬型の気圧配置となる日が多かったが、後半は冬型の気圧配置は長続きせず、7日から8日にかけては低気圧が日本海を発達しながら通過したため、東・西日本を中心に大荒れの天気となった。沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく晴れの日が多かった。

旬平均気温は、東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美では高かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なかった。北日本太平洋側と東・西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と西日本日本海側では多かった。北日本日本海側と東日本では平年並だった。

中旬：全国的に寒気の南下は弱く、低気圧と高気圧が本州付近を交互に通過した。低気圧や前線の影響で太平洋側でも雲の広がる日が多かったが、南からの湿った空気の流れ込みは弱く、降水量は少ない所が多かった。沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われやすかった。

旬平均気温は、東日本でかなり高く、北・西日本と沖縄・奄美では高かった。

旬降水量は、北・西日本日本海側でかなり少なく、北・西日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。東日本では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側で多かった。一方、北・東日本太平洋側と西日本では少なかった。東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：期間の後半は、本州の南に前線が停滞し、26日から29日にかけては太平洋側を中心に大雨となり、屋久島（鹿児島県）では24時間降水量が284.5mmを観測するなど、6地点で1月の月最大24時間降水量を更新した。また、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、全国的に気温はかなり高くなり、北・東日本では1月下旬としては1位の高温となった。

旬平均気温は、全国でかなり高かった。

旬降水量は、北日本太平洋側と西日本でかなり多く、東日本太平洋側では多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側では多かった。一方、東日本太平洋側と西日本はかなり少なく、北日本太平洋側では少なかった。東日本日本海側は平年並だった。

1月の気候統計

月平均気温：東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。

月降水量：北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なかった。一方、北・東日本太平洋側と西日本で多かった。東日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側でかなり少なく、西日本で少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

1月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
豊岡（兵庫県）6.9など105地点
- ・月降水量多い方から（mm）
平戸（長崎県）303.5など2地点
- ・月降水量少ない方から（mm）
浦河（北海道）4.5など4地点

2020年1月の平年差（比）図

